

# コミュニティ・スクールの実態

## 調査の概要

- 平成23年度文部科学省委託調査研究（以下「23年度調査」という。）  
「コミュニティ・スクールの推進に関する教育委員会及び学校における取組の成果検証に係る調査研究」（日本大学文理学部）

### <指定校校長調査>

【調査対象】 全国のコミュニティ・スクール指定校 813校(人)  
小学校555校、中学校207校  
その他(幼稚園・特別支援・高校・中等教育学校)51校

【調査実施時期】 平成23年10月～11月

【調査方法】 郵送法(校長宛の郵送による発送と回収)

【回収数】 675校 (回収率 83.0%)

- 平成25年度文部科学省委託調査研究（以下「25年度調査」という。）  
「コミュニティ・スクール指定の促進要因と阻害要因に関する調査研究」（日本大学文理学部）

### <校長調査(指定校及び未指定校)>

【調査対象】 計1,201校

- ・CS実践研究の指定を受けた学校のうちCS指定校(校長) 434校(人) ※1
- ・上記のうちCS未指定校(校長) 135校(人)
- ・※1に該当しないCS(平成22年度～25年度)(校長) 632校(人)

【調査実施時期】 平成25年10月～11月

【調査方法】 郵送法(校長宛の郵送による発送と回収)

【回収数】 760票(回収率 63.3%)

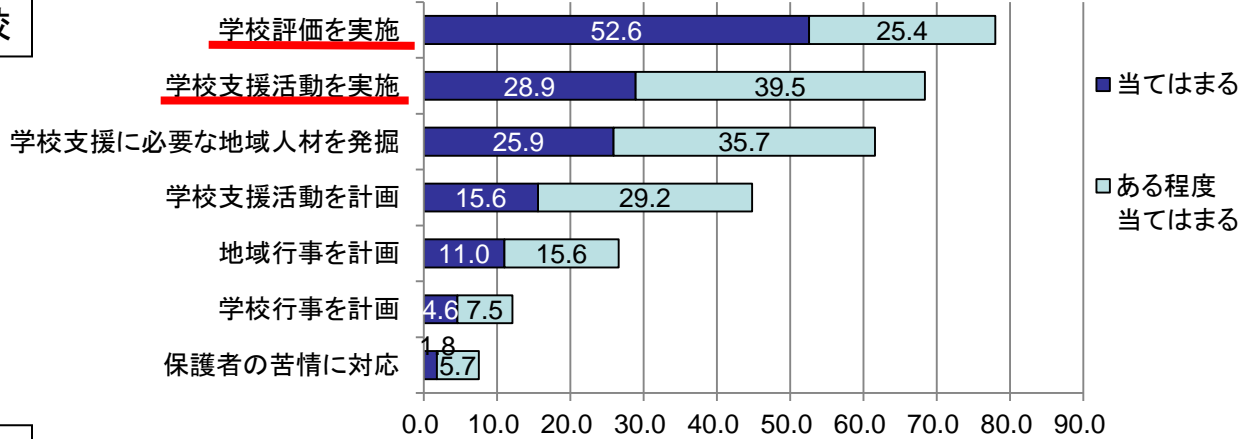
# 文部科学省委託調査研究結果

## 学校運営協議会法定外(権限外)活動

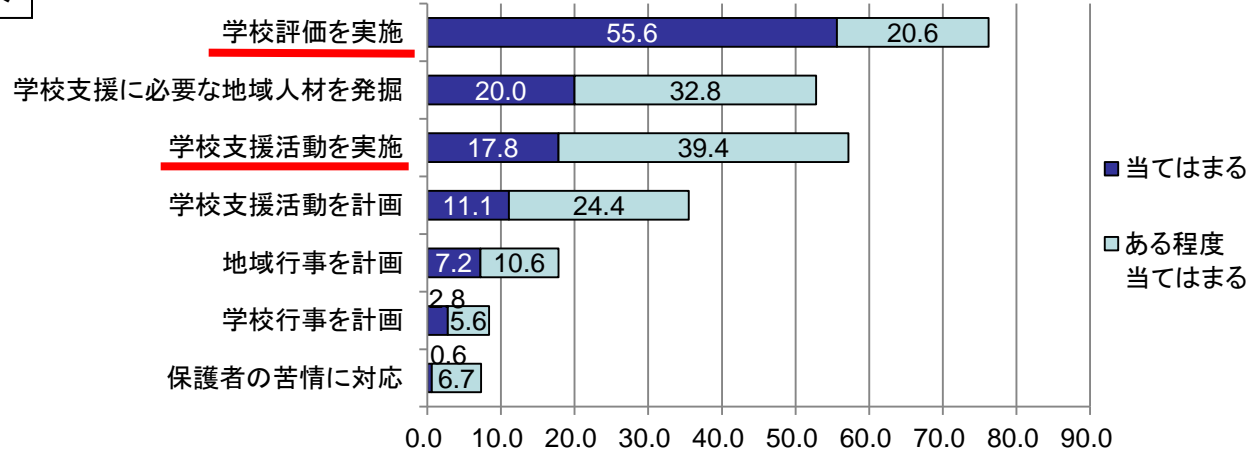
【23年度調査】

○学校支援活動を実施している割合が約7割、学校評価を実施している割合が約8割

### 小学校



### 中学校



## 学校運営協議会法定外(権限外)活動と成果認識の関係性

【23年度調査】

○学校支援活動と成果認識は有意な関係がある

	成果認識項目	権限外活動	保護者の苦情に対応	学校評価を実施	地域行事を計画	学校行事を計画
		学校支援活動を実施				
学校運営の改善	学校関係者評価が効果的に実施	◎		◎		○
	学校が活性化	◎				◎
児童生徒の変容	児童生徒の学習意欲向上	◎	△		◎	△
	生徒指導の課題解決	◎	△		◎	
教職員の変容	教職員の意識改革	◎	△			△
	教職員の子どもと向き合う時間の増加	◎	△			
保護者・地域連携の変容	学校に対する保護者や地域の理解の深まり	◎				
	保護者や地域からの苦情が減少	◎	△		○	
学校外の変容	地域教育力が向上	◎	△	△	○	◎
	家庭の教育力が向上	◎	△		○	○

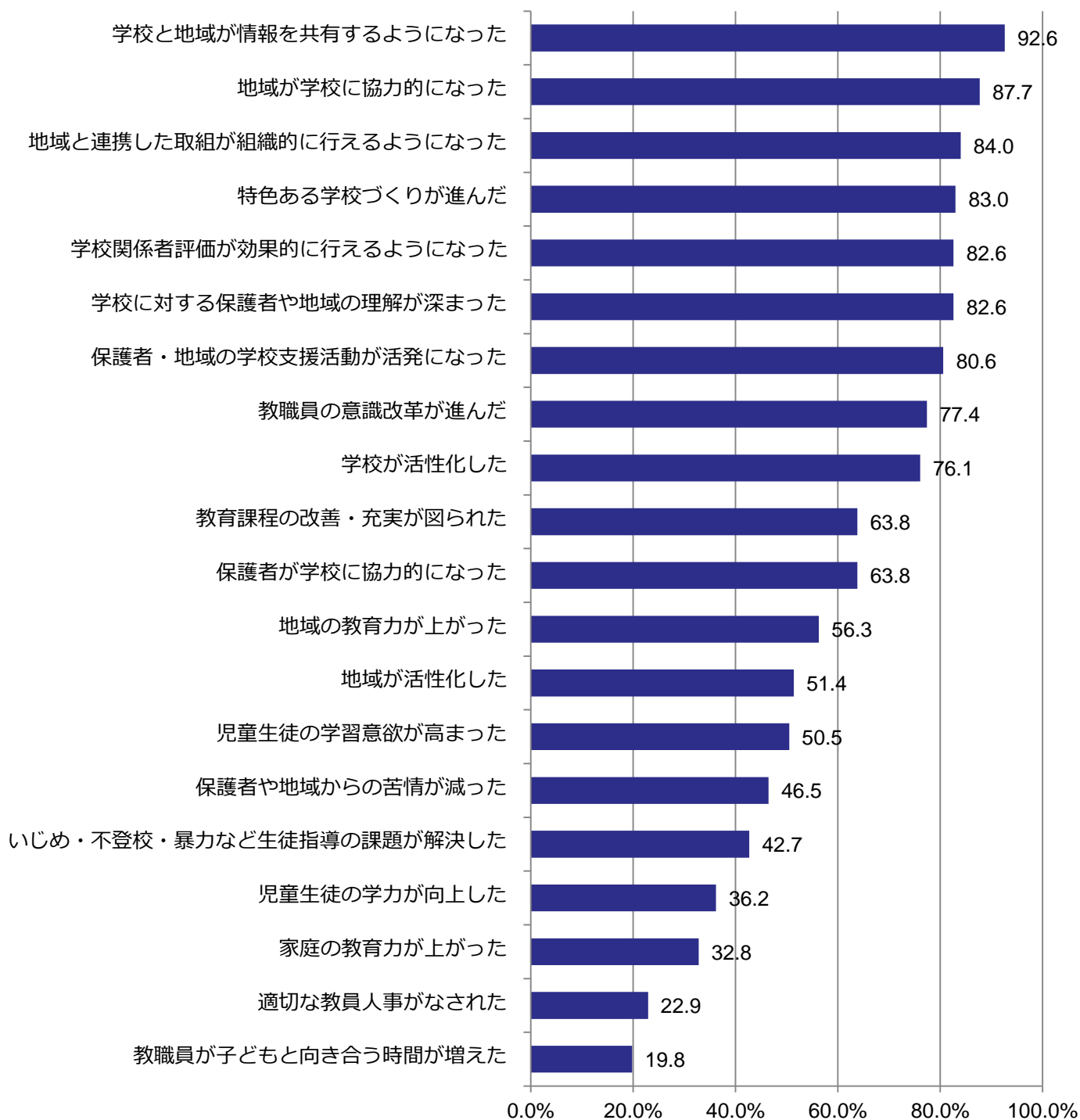
注:◎=強い有意な関係あり(p<0.01)、○=有意な関係あり(p<0.05)、△=ある程度関係有り(数値差約10ポイント以上)

# 文部科学省委託調査研究結果

## コミュニティ・スクールの成果認識(指定校)

【23年度調査】

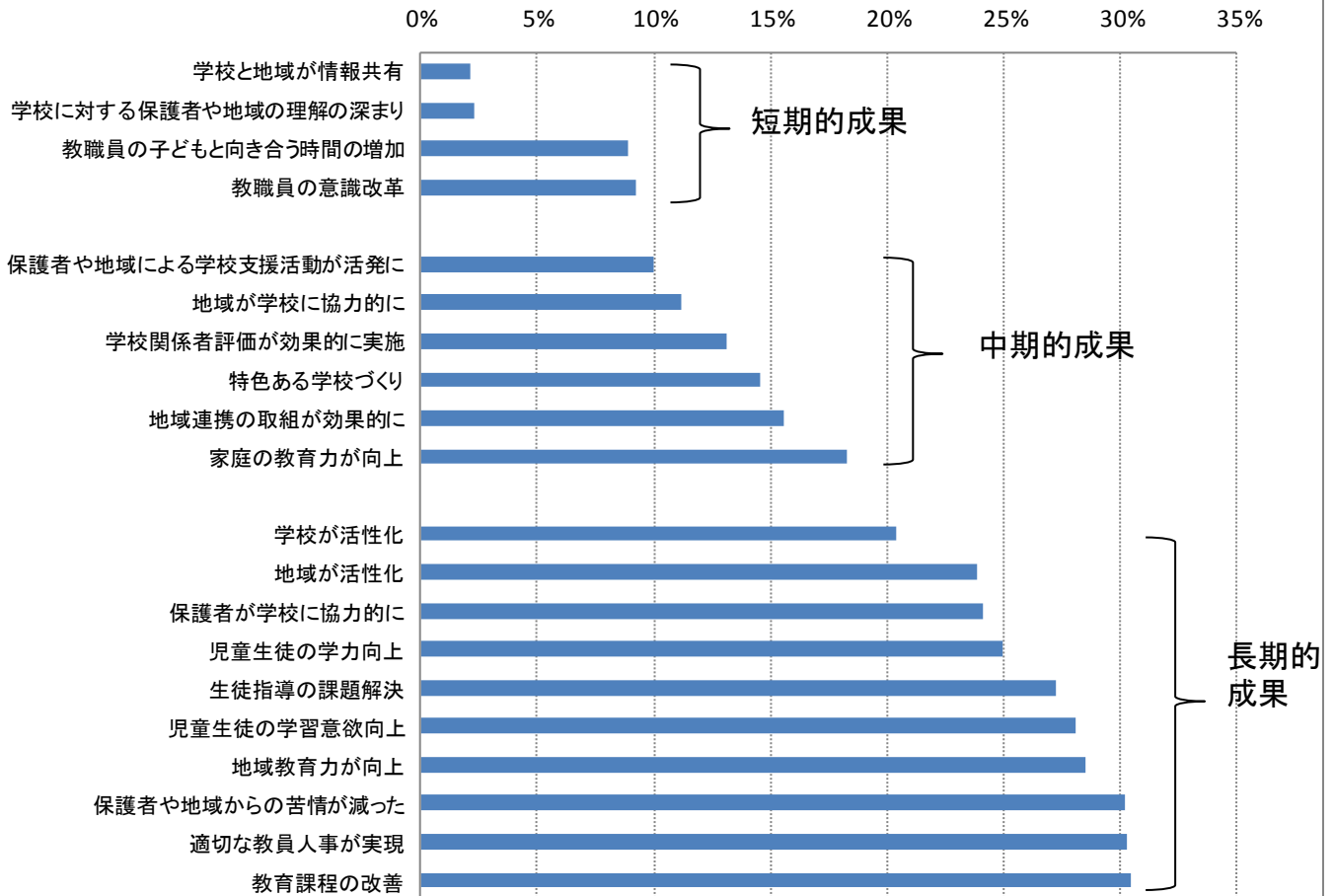
※「当てはまる」「ある程度当てはまる」の合計



# 文部科学省委託調査研究結果

## コミュニティ・スクールの指定時期と成果認識

コミュニティ・スクールの成果認識の指定年度別数値差  
平成16・17年度－平成23年度の数値



## 発現期からみた成果認識

### 【短期的成果】

- ・学校に対する保護者や地域の理解の深まり
- ・学校と地域が情報共有
- ・教職員の子供と向き合う時間の増加
- ・教職員の意識改革

### 【中期的成果】

- ・保護者・地域による学校支援活動が活発に
- ・地域が学校に協力的に
- ・学校関係者評価が効果的に実施
- ・特色ある学校づくり
- ・地域連携の取り組みが効果的に
- ・家庭の教育力が向上

### 【長期的成果】

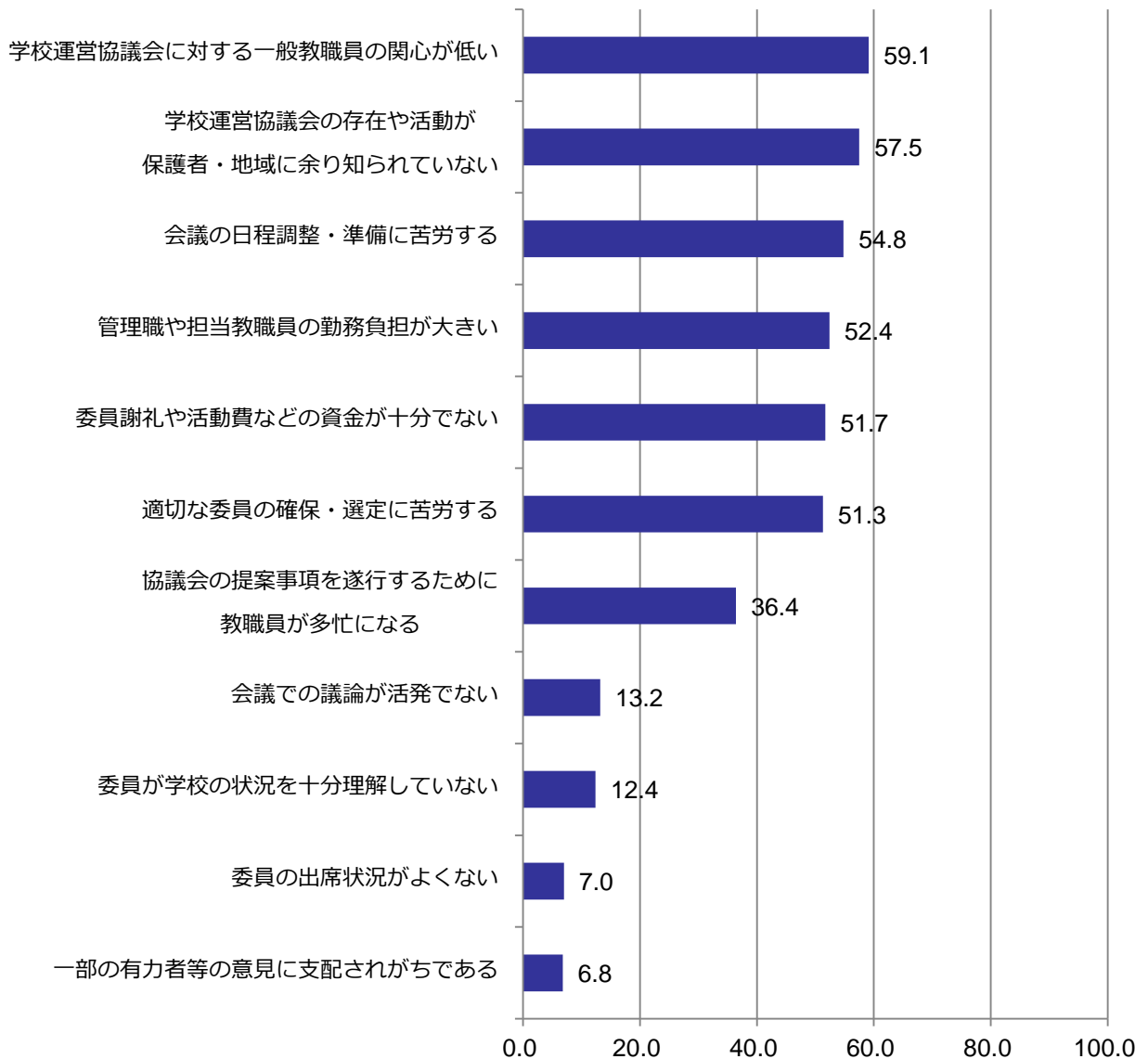
- ・学校が活性化
- ・地域が活性化
- ・保護者が学校に協力的
- ・児童生徒の学力向上
- ・生徒指導の課題解決
- ・児童生徒の学習意欲向上
- ・地域教育力が向上
- ・保護者や地域からの苦情が減った
- ・適切な教員人事が実現

## 学校運営協議会運営上の課題(指定校)

【23年度調査】

現在、学校運営協議会を運営する上で、課題になっていることにはどのようなことがありますか。

※「はい」と回答した校長の割合



# 文部科学省委託調査研究結果

## 指定前後の課題に対する認識の変化

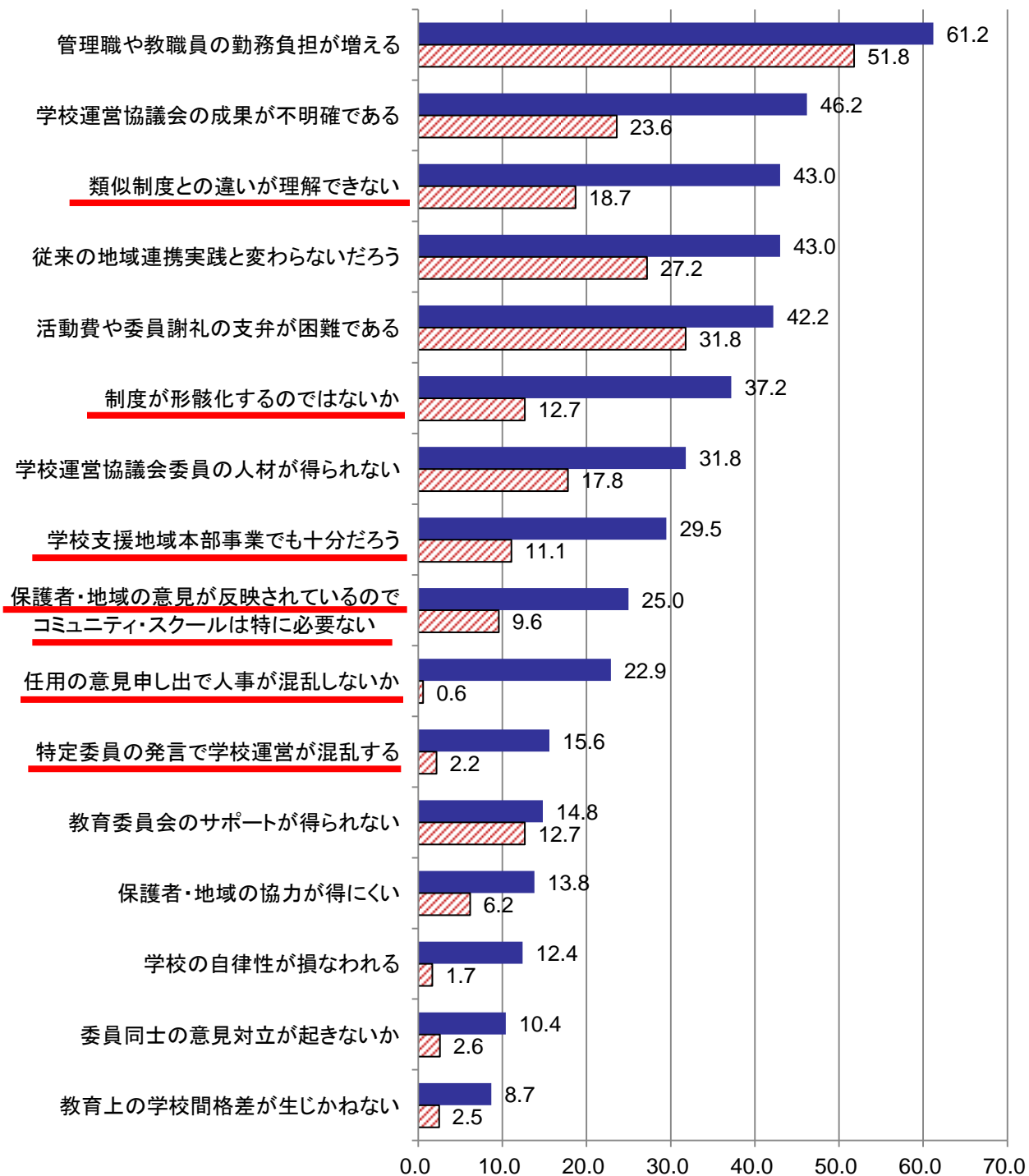
【25年度調査】

○課題認識は、指定によって一定程度解消されている。

■ 指定前：コミュニティ・スクールに指定される以前は、  
どのようなことを課題視していましたか

▨ 指定後：コミュニティ・スクールに指定された現在、  
どのようなことが実際の課題になりましたか

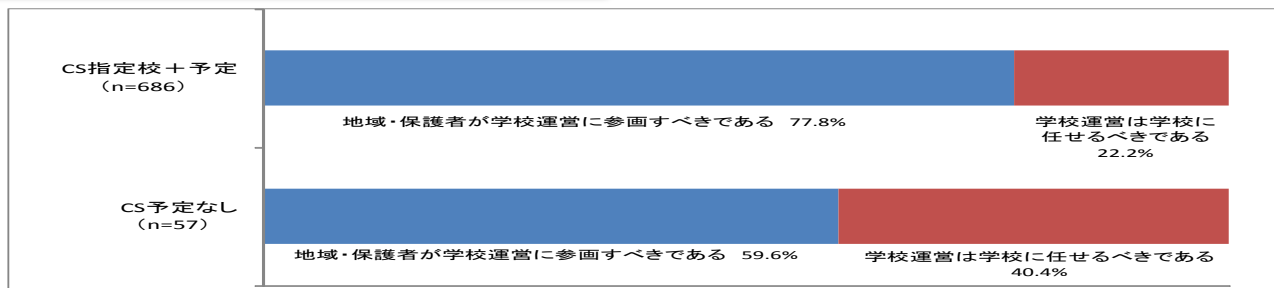
※「当てはまる」「ある程度当てはまる」の合計



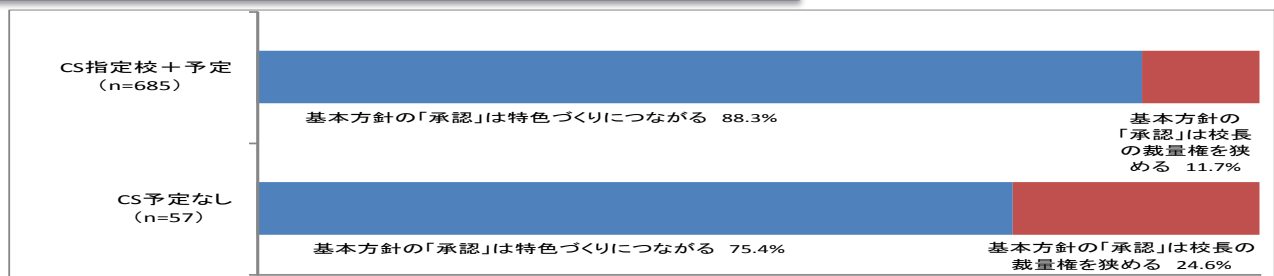
# 文部科学省委託調査研究結果

## 学校運営参画に対する認識と指定の有無

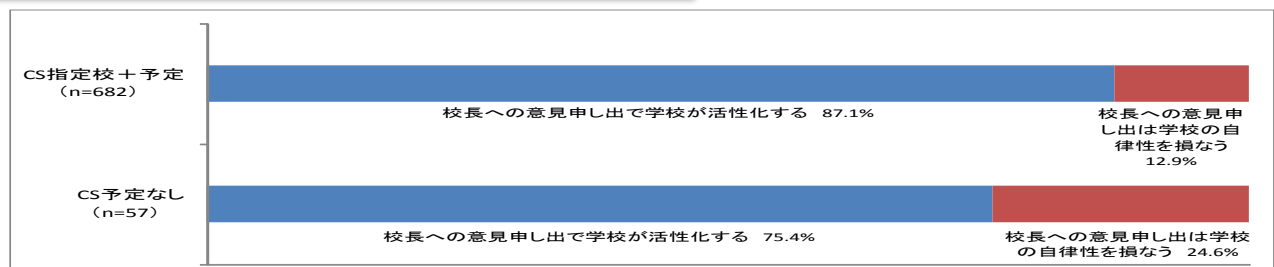
【25年度調査(以下、同様)】



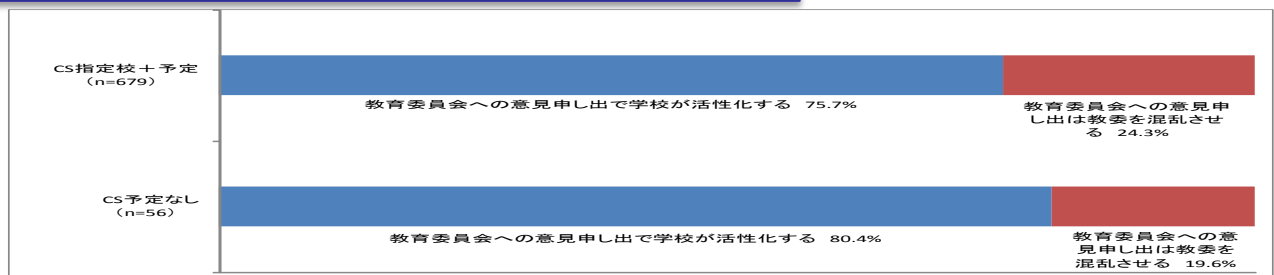
## 学校運営協議会の承認権に対する認識と指定の有無



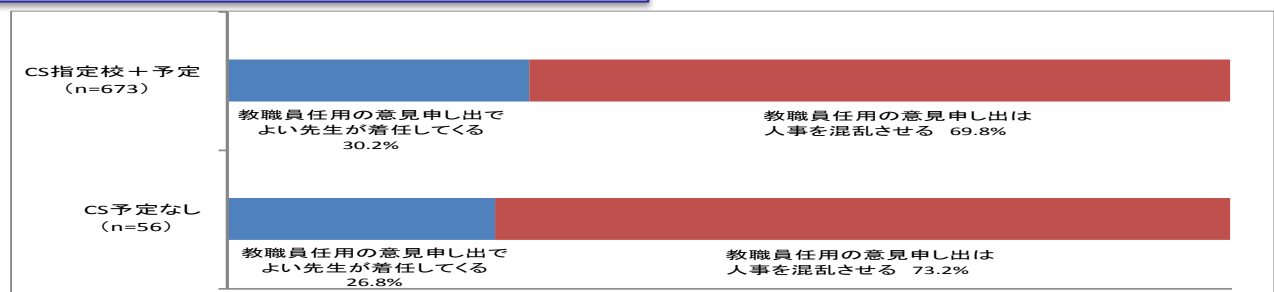
## 校長への意見申出に対する認識と指定の有無



## 教育委員会への意見申出に対する認識と指定の有無



## 教職員任用意見に対する認識と指定の有無

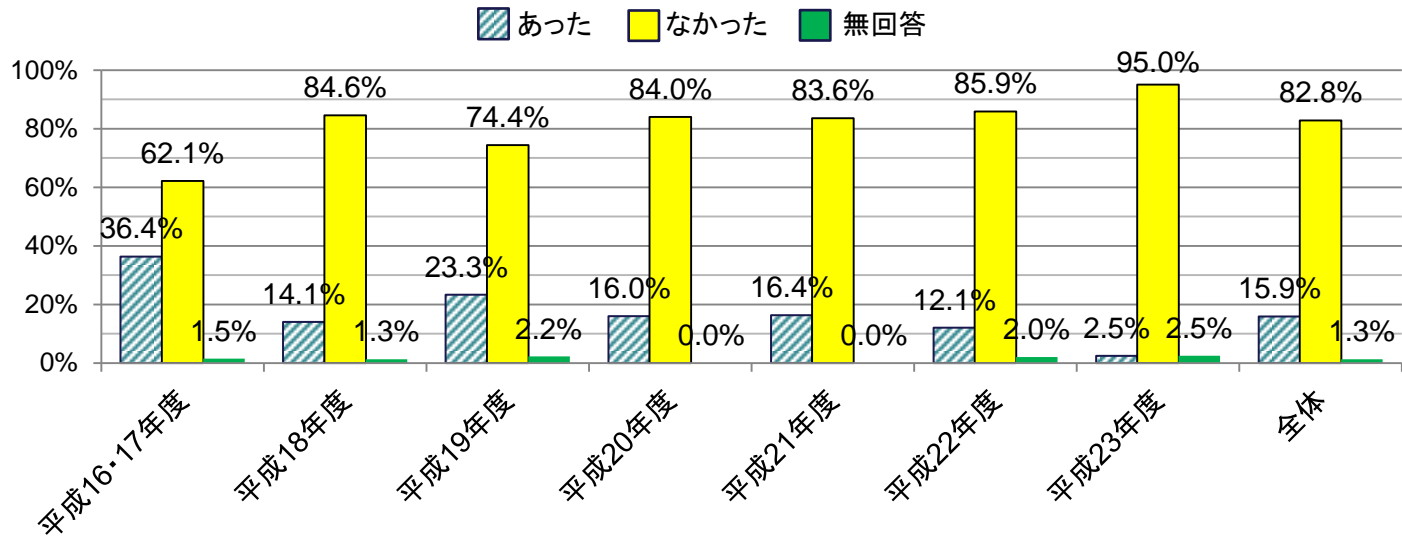


# 文部科学省委託調査研究結果

## 教職員の任用に関する意見の実態

教職員の任用に関する意見があったコミュニティ・スクールは全体の約16%

### 人事に関する意見の申出(指定年度別)

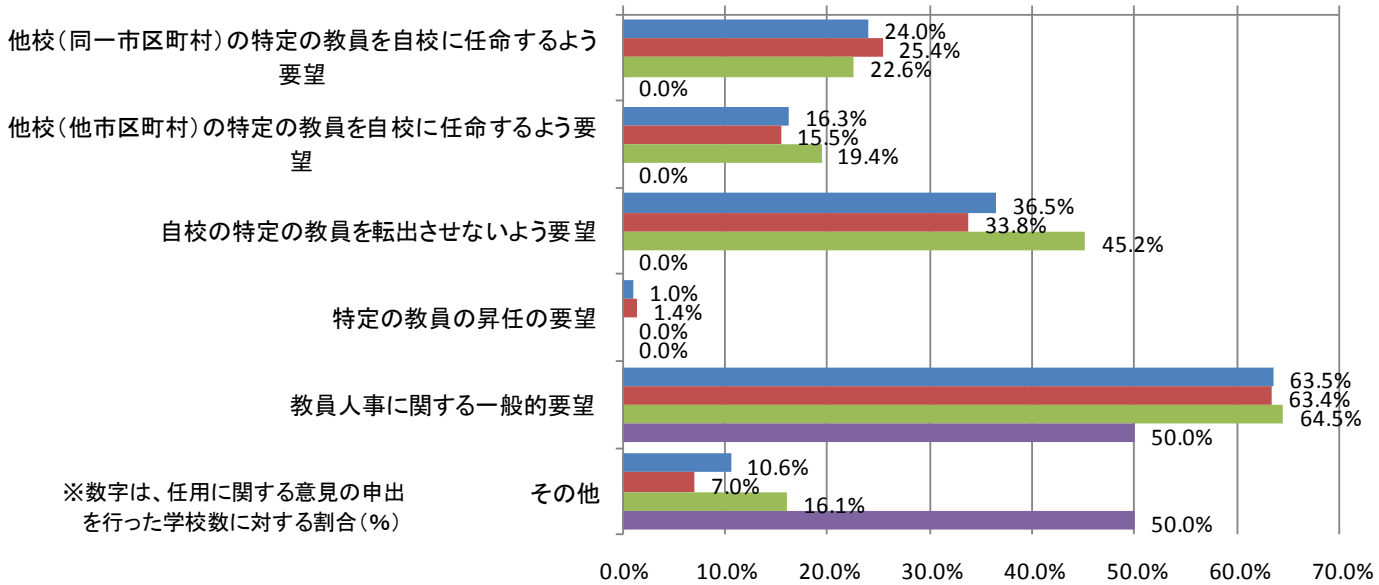


「コミュニティ・スクールの推進に関する教育委員会及び学校における取組の成果検証に係る調査研究報告書」  
(平成26年3月、日本大学文理学部)より

教職員の任用に関する意見は、教員人事に関する一般的要望が6割を超える。

### 教職員の任用に関する意見の内容

■ 全体 ■ 小学校 ■ 中学校 ■ その他(幼・特・高)



例1) 地域との連携による学校づくりにマネジメント力を発揮する校長の留任を要望し、実現。

例2) ミドルリーダーを強化したいという意見を提出し、がおおむね実現。

例3) 社会教育主事資格を有する教員の配置を要望し、実現。

「コミュニティ・スクールの推進に関する教育委員会及び学校における取組の成果検証に係る調査研究報告書」  
(平成26年3月、日本大学文理学部)より